

札幌市外国人市民アンケート調査結果（抜粋）

1 調査の目的

札幌市に暮らす外国人数は、2019年12月1日現在14,943人となっており、近年は年間1千人を超える割合で増加している。
今後ますます増えることが見込まれる外国人の日常生活の不安や不便を把握するとともに、外国人の考えや要望を多文化共生のまちづくりに反映させることを目的とする。

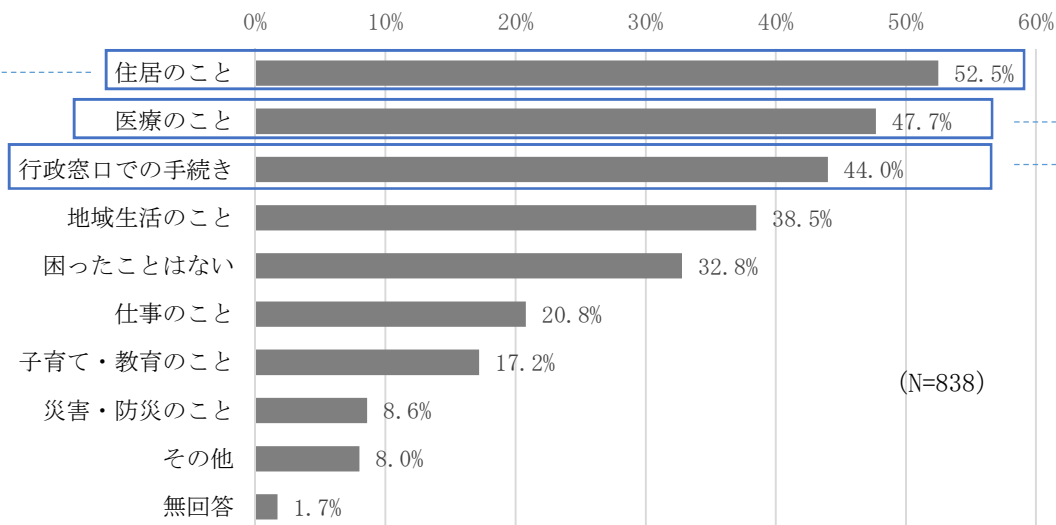
2 調査の概要

本調査は札幌市に住民登録を行っている18歳以上の外国籍市民3,000人に送付し、838件から回答があった。

3 調査結果（抜粋）

日常生活で困ること

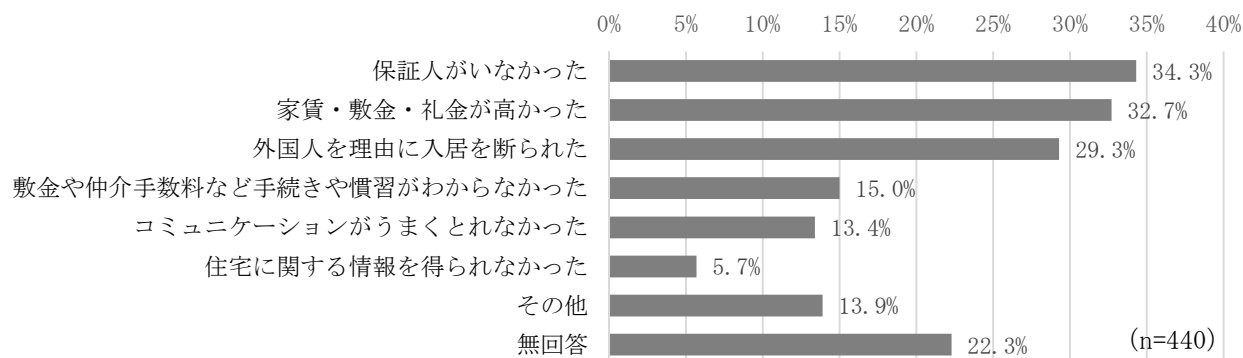
あなたが日常生活で困ること、または、これまでに困ることがあったことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



日常生活で困ることは、「住居のこと」が52.5%と最も多く、ついで「医療のこと」47.7%、「行政窓口での手続き」44.0%となっている。

住居探しで困ったこと

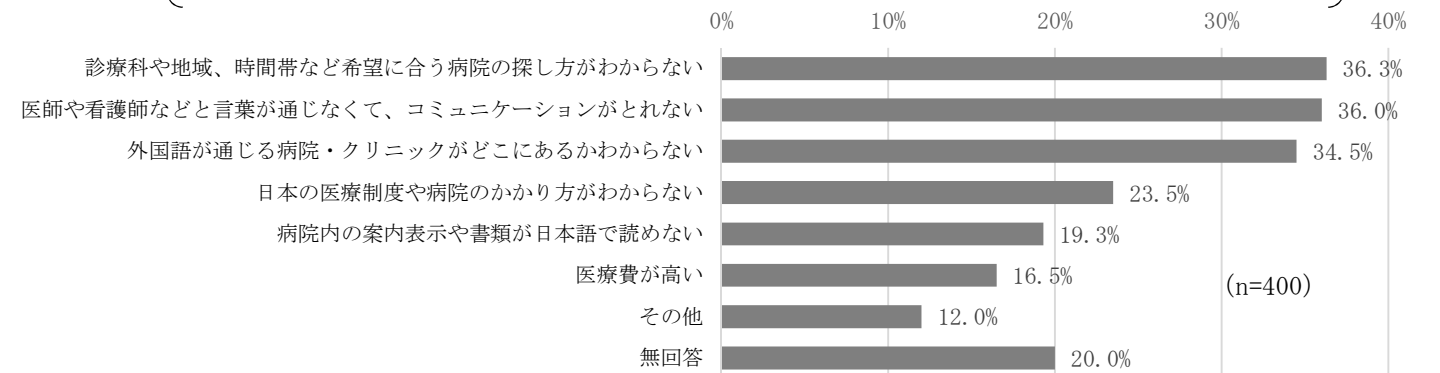
あなたが、家を探すうえで、困ったこと、または困っていることはなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



住居のことで困ること、または、これまでに困ったことがあると答えた人が、家を探すうえで困ったこと、または困っていることは、「保証人がいなかった」が34.3%と最も多く、ついで「家賃・敷金・礼金が高かった」が32.7%、「外国人を理由に入居を断られた」が29.3%となっている。

医療のことで困ること

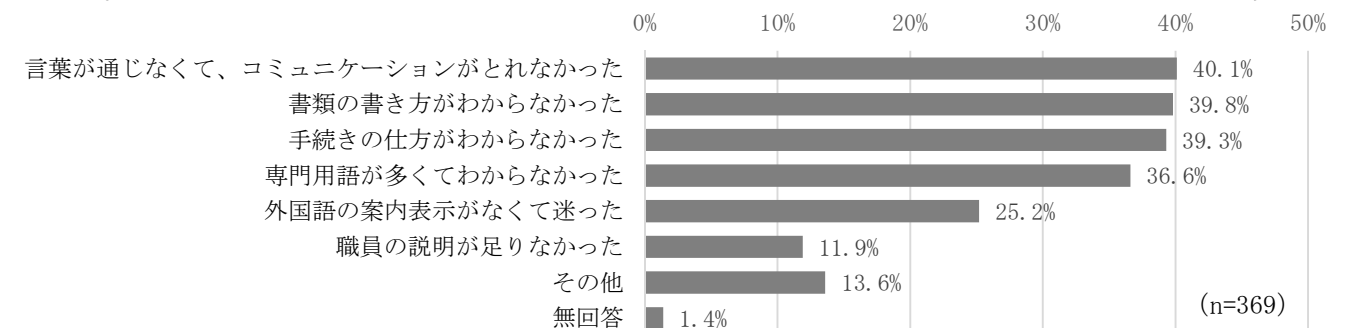
あなたや家族が病気やけがで病院に行くとき、困ることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



医療のことで困ること、または、これまでに困ったことがあると答えた人が、病院に行くとき、困ることは、「診療科や地域、時間帯など希望に合う病院の探し方がわからない」が36.3%、「医師や看護師などと言葉が通じなくて、コミュニケーションがとれない」が36.0%、「外国語が通じる病院・クリニックがどこにあるかわからない」が34.5%と、ほぼ同じ割合であり、他の項目よりも多くなっている。

行政窓口で困ること

あなたが行政窓口で手続きをしようとしたとき、困ること、または、これまでに困ったことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



行政窓口での手続きで困ること、または、これまでに困ったことがある、と答えた人のうち、「言葉が通じなくて、コミュニケーションがとれなかった」、「手続きの仕方がわからなかった」、「書類の書き方がわからなかった」がそれぞれ約4割となっている。

4 今後の取組の方向性

本調査では、言葉や文化、習慣の違いから、日常生活において不便や不安を感じている外国人市民が多くいることを改めて把握した。引き続き、外国人生活者に対し暮らしに関わる情報提供や相談を多言語で行う総合相談窓口や行政サービスにおける多言語発信の充実、医療通訳派遣制度の整備など外国人の暮らしやコミュニケーションに係るサポートの仕組みづくりを進めるとともに、市民全体の異文化理解を促進する。

さっぽろ外国人相談窓口

●外国人の暮らしに関わる情報提供や相談を多言語で行います。
電話：011-211-3678
メール：soudan@plaza-sapporo.or.jp
http://www.plaza-sapporo.or.jp/citizen_j/service/helpdesk.html



作成：令和2年（2020年）7月
札幌市総務局国際部交流課